

アプリアックス、Open Handset Alliance に参加

2007 年 11 月 6 日 東京

株式会社アプリアックス(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:関野正明、以下「アプリアックス」)は、携帯電話の製品開発に要する膨大な開発コストやモバイルプラットフォームのフラグメンテーションといった様々な障害を解決することを目指す **Open Handset Alliance** に参加することを発表いたします。アライアンスは、現在、デスクトップ PC でしか受けられないあらゆる先進的なサービスを、携帯電話という最も身近なネットワーク機器からもアクセスすることを可能にするオープン・モバイル・プラットフォーム(**Android**)を提供する予定です。また、このアライアンスの設立が、堅牢なユビキタス環境における様々な新しいサービスの提供に向けての大きな一歩となると考えています。

アプリアックスの代表取締役会長であります郡山 龍は次のように述べています。

「**Open Handset Alliance** に参加できたことを非常に嬉しく思っています。アプリアックスは、これまでのモバイル及び組み込みソフトウェア開発で培った経験をもとに、デバイスメーカーや通信事業者の **Android** プラットフォームをベースとした製品開発と早期の市場への製品投入をサポートしていきます。」

Android プラットフォームは、ワイヤレス・エコシステムにおける携帯向けサービスの新たな発展と可能性を示します。10年に渡って組み込みソフトウェア製品を市場へ提供してきた経験と多くのグローバル市場での実績をもとに、アプリアックスは **Android** プラットフォームを搭載した携帯電話の製品化に取り組んでいきます。

株式会社アプリアックスについて

アプリアックスは、携帯電話をはじめデジタル機器用の **Java™** テクノロジーにおいて世界的なリーディングカンパニーです。世界に先駆けて携帯電話向け **Java** サービスが始まった日本において、その創成期から株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ、ソフトバンクモバイル株式会社(旧社名:ボーダフォン株式会社)および **KDDI** 株式会社、3社全ての仕様に対応した **Java** テクノロジーを供給してまいりました。また海外においても、韓国サムスン社をはじめ北米モトローラ社、**TCL & アルカテル** モバイルフォンズ社、台湾 **BenQ** 社へ、世界の通信事業者の仕様に対応した **Java** テクノロジーを供給しています。主力製品である **JBlend™** は、携帯電話やデジタル家電において、**Java** アプリケーションを動作させるプラットフォームです。世界のトップメーカーに採用されており、その搭載製品の累計出荷台数は 2007 年 6 月末時点で 3 億 5900 万台を超えております。なお、2004 年 8 月 24 日、アプリアックスは台湾の **iaSolution** と企業統合をいたしました。

1986 年設立

1996 年 **Java** のライセンス取得

2003 年東証マザーズ上場

本社:東京 / 拠点:横須賀、沖縄、サンフランシスコ、ミュンヘン、台湾、上海、北京、ソウル、ロンドン

Aplix Press Release



このリリースに関するお問い合わせ先

株式会社アプリクス 広報担当

03-5286-8436

<http://www.aplix.co.jp/>

JavaおよびJavaに関連する商標は、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
JBlendおよびこれらに関連する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリクスの商標または登録商標です。
その他の社名、製品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。